



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 タキロンシーアイ株式会社
 コード番号 4215 URL <https://www.takiron-ci.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 齋藤 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 大久保 俊哉

TEL 06-6453-3845

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	104,169	7.4	5,296	28.7	5,474	27.8	11,869	125.5
2019年3月期第3四半期	112,547	2.2	7,432	4.9	7,578	6.9	5,263	10.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 11,921百万円 (140.3%) 2019年3月期第3四半期 4,960百万円 (30.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	121.90	
2019年3月期第3四半期	54.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	146,307	83,175	55.8	838.45
2019年3月期	138,251	74,310	52.6	746.42

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 81,618百万円 2019年3月期 72,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		9.00		17.00	26.00
2020年3月期		13.00			
2020年3月期(予想)				14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	7.1	7,300	19.6	7,400	19.6	13,000	103.4	133.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	97,500,000 株	2019年3月期	97,500,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	155,980 株	2019年3月期	128,040 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	97,367,674 株	2019年3月期3Q	97,425,990 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、一部の連結子会社について報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国向けを中心とした輸出の低迷が続き、設備投資の減速などを背景に、製造業の生産活動は低調に推移しました。一方、堅調であった個人消費も、消費増税に伴う駆け込み需要の反動等により減少傾向にあります。

貿易摩擦は、米中通商協議進展があったものの、先行きに対する警戒感は払拭されておらず、緊迫する中東情勢やブレグジットもあり、不透明感が強くなっております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は104,169百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は5,296百万円（前年同期比28.7%減）、経常利益は5,474百万円（前年同期比27.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社連結子会社における固定資産の譲渡による特別利益の計上があり、11,869百万円（前年同期比125.5%増）となりました。

次に、事業セグメント別の概況をご報告します。

建築資材事業セグメント

住設建材事業は、主力のポリカーボネート製採光建材において、グループでの販売統合による営業力強化に加え、昨年の台風被害に対する復旧需要が続き、売上が伸長しました。しかし、住宅資材においては、増税特需後の反動により、事業全体としては減収となりました。

床・建装事業は、床部門において、マンション改修工事における増税特需後の反動により、第3四半期に入り売上が減少しました。建装部門においては、国内の建築物向けは堅調に推移した一方、中国市場向けの販売が回復せず、事業全体としての売上は前年並みとなりました。

その結果、建築資材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は35,190百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は2,405百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

環境資材事業セグメント

アグリ事業は、西日本を中心とした昨年度の災害復旧に伴う張替え需要が収束したことに加えて増税特需後の反動も重なり、第3四半期に入り全国的にハウス用資材の需要が減少した影響を受け、主力の農業用被覆フィルムを始めハウス関連資材全般で苦戦し、減収となりました。

インフラマテリアル事業は、エンジニアリング分野で堅調に推移したものの、災害復興物件向け資材販売は台風被害による物件遅延の影響があり、減収となりました。

その結果、環境資材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は41,424百万円（前年同期比9.1%減）、営業利益は1,049百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

高機能材事業セグメント

高機能材事業は、主力の工業用プレートが半導体・FPD設備投資低迷を主因とし減収となりました。各種エンブレ、アセテート材は横ばい、磁性材は一般マグネットシートが振るわず減収となりました。マイクロモータは用途開拓が進んだこと、また大型濾過板は大口の海外案件受注で増収となりました。しかしながら、事業全体では工業用プレートの落込みを補いきれず減収となりました。

その結果、高機能材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は12,703百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は856百万円（前年同期比49.2%減）となりました。

機能フィルム事業セグメント

機能フィルム事業は、ジッパーテープは日本国内、アジア、欧米を中心に堅調に推移し増収となりました。シュリンクフィルムは、第3四半期に入り日本国内及び北南米市場共に堅調に推移しましたが、第2四半期までの落ち込みをカバーするには至らず、セグメント合計では減収となりました。

その結果、機能フィルム事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は14,501百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益は836百万円（前年同期比50.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より8,056百万円増加し、146,307百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、預け金、建物及び構築物が増加したことによるものです。

一方、負債は、前連結会計年度末より809百万円減少し、63,131百万円となりました。これは主に未払法人税等が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

また、純資産は、前連結会計年度末より8,865百万円増加し、83,175百万円となりました。自己資本比率は、55.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、高機能材事業セグメントにおける半導体・FPD設備投資回復の遅れと機能フィルム北米事業における第2四半期までの市況低迷、加えて消費増税に伴う駆け込み需要の反動により、販売計画を下回って推移していること、また、2020年1月の販売動向を踏まえると、当第4四半期連結会計期間における売上高も計画に対し弱含みで推移することが予想されることから、2019年5月9日に公表した業績予想を以下のとおり修正いたしました。尚、2020年3月期の年間配当金予想は1株当たり27円であり、修正はありません。

2020年3月期通期連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	151,000	9,300	9,400	13,500	138.65
今回発表予想 (B)	140,000	7,300	7,400	13,000	133.51
増減額 (B - A)	△11,000	△2,000	△2,000	△500	—
増減率 (%)	△7.3	△21.5	△21.3	△3.7	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	150,650	9,080	9,200	6,391	65.62

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,835	9,980
受取手形及び売掛金	45,250	39,889
電子記録債権	8,205	7,983
商品及び製品	14,037	14,178
仕掛品	3,187	3,352
原材料及び貯蔵品	5,404	5,836
預け金	3,216	10,217
その他	1,859	1,477
貸倒引当金	△57	△39
流動資産合計	87,939	92,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,462	15,748
機械装置及び運搬具(純額)	8,501	9,519
土地	13,437	10,703
建設仮勘定	2,419	1,794
その他(純額)	1,279	2,058
有形固定資産合計	38,101	39,825
無形固定資産	2,367	2,841
投資その他の資産		
投資有価証券	3,655	4,315
繰延税金資産	3,258	3,231
その他	2,982	3,266
貸倒引当金	△53	△49
投資その他の資産合計	9,842	10,764
固定資産合計	50,311	53,431
資産合計	138,251	146,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,766	27,181
電子記録債務	4,642	5,048
短期借入金	4,896	5,081
1年内返済予定の長期借入金	15	—
未払法人税等	1,416	5,062
賞与引当金	2,136	1,189
その他	7,046	8,025
流動負債合計	51,920	51,588
固定負債		
繰延税金負債	585	437
退職給付に係る負債	9,035	8,338
資産除去債務	267	264
その他	2,132	2,502
固定負債合計	12,020	11,543
負債合計	63,941	63,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	30,978	30,978
利益剰余金	26,571	35,516
自己株式	△80	△100
株主資本合計	72,658	81,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	185
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	△282	△439
退職給付に係る調整累計額	290	285
その他の包括利益累計額合計	22	34
非支配株主持分	1,629	1,557
純資産合計	74,310	83,175
負債純資産合計	138,251	146,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	112,547	104,169
売上原価	81,129	75,044
売上総利益	31,418	29,125
販売費及び一般管理費	23,985	23,829
営業利益	7,432	5,296
営業外収益		
受取配当金	108	141
受取賃貸料	119	116
その他	332	293
営業外収益合計	561	552
営業外費用		
支払利息	140	87
売上割引	52	43
賃貸収入原価	69	74
その他	153	168
営業外費用合計	415	373
経常利益	7,578	5,474
特別利益		
固定資産売却益	387	12,305
投資有価証券売却益	32	38
ゴルフ会員権売却益	1	—
資産除去債務戻入益	203	—
事業譲渡益	—	78
特別利益合計	624	12,423
特別損失		
固定資産処分損	101	234
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	46
特別損失合計	101	280
税金等調整前四半期純利益	8,101	17,617
法人税等	2,652	5,691
四半期純利益	5,449	11,925
非支配株主に帰属する四半期純利益	185	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,263	11,869

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,449	11,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△592	170
繰延ヘッジ損益	△3	1
為替換算調整勘定	81	△172
退職給付に係る調整額	25	△4
その他の包括利益合計	△488	△4
四半期包括利益	4,960	11,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,739	11,882
非支配株主に係る四半期包括利益	221	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(国際財務報告基準(IFRS)第16号「リース」の適用)

当社グループの在外連結子会社では、国際財務報告基準(IFRS)に準拠した財務諸表を作成しており、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

IFRS第16号「リース」の適用にあたっては、経過措置に従っており、過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについては、第1四半期連結会計期間の期首に使用権資産とリース負債を認識しております。

当該会計基準の適用に伴い、当第3四半期連結貸借対照表において有形固定資産のその他(純額)が587百万円、流動負債のその他が101百万円、固定負債のその他が486百万円それぞれ増加しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	36,046	45,579	14,721	15,801	112,149	398	112,547	—	112,547
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	689	1,240	1,844	37	3,812	0	3,812	△3,812	—
計	36,736	46,820	16,566	15,839	115,962	398	116,360	△3,812	112,547
セグメント利益	2,497	1,412	1,686	1,697	7,293	49	7,342	90	7,432

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	35,190	41,424	12,703	14,501	103,819	350	104,169	—	104,169
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	242	369	1,758	32	2,403	0	2,403	△2,403	—
計	35,432	41,794	14,462	14,534	106,223	350	106,573	△2,403	104,169
セグメント利益	2,405	1,049	856	836	5,147	61	5,209	87	5,296

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、一部の連結子会社について報告セグメントの区分を変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分で記載しております。